

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
翻訳法入門 Basic Translation Skills		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
リーディング I、II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
佐藤秀一	本館2階	火曜日、木曜日の11時から16時まで (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
実際に翻訳するにあたって必要な英語と日本語の基本的相違を認識する。翻訳することによって意味や感情が異なってくるが、自然で正しい日本語を考える機会にする。英語、日本語に限らず言葉の大切さを学ぶ。				
授業の目標				
①原文の意味を正確に理解し、正しく伝達できるようにする。 ②日本語らしい表現で訳すことができるようにする。(受験英語の和訳からの脱却) ③翻訳にあたって必要な英語と日本語の相違の認識ができるようにする。 ④翻訳に対する態度と技術(翻訳のコツ)を習得できるようにする。				
授業の方法				
テキスト以外に文学作品や映画のシナリオからの抜粋、新聞、雑誌記事、広告、その他各種の英文プリントを翻訳し、ペアで各自の翻訳を評価し、添削しあう。各自が同じ英文の翻訳を板書して比較研究する。				
学習の成果(学習成果)				
この授業を履修すると、あなたは ①原文の意味を正確に理解し、正しく伝達することができる。 ②日本語らしい表現で訳すことができる。 ③翻訳する際の基礎的な考え方、ルールなどポイントとなる点を認識できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明 (担当:佐藤秀一)			
第2回目	主語の扱い 1. 主語を訳さない場合 2. 主語を訳す場合			
第3回目	代名詞 1. 目的格、所有格の代名詞 2. 反復を避ける代名詞			
第4回目	無生物主語の文 1. 無生物主語の文 2. 無生物主語の文の発想で訳せる場合			
第5回目	関係代名詞 1. 関係代名詞の前にコンマがない場合 2. 関係代名詞の前にコンマがある場合			
第6回目	受身の文 受動態のまま訳すことも多いが、能動態の日本語で訳すことがある。			

第7回目	比較の文 1. 比較級 2. 最上級 3. as~asの構文の訳		
第8回目	仮定法 仮定法の文章はifのある文だが、ifがなくても仮定的な意味がある文がある。その意味を読んで訳す。		
第9回目	強調の文 1. It...thatの構文 2. 倒置の構文 3. 強調を示す語		
第10回目	時制に注意 意味内容が現在なのか過去なのか、あるいは現在完了なのか未来なのか、基本的なものをあげろ。		
第11回目	WillとSome 1. 意志のwill 2. Some 意志のwillとsomeの基礎的な訳し方		
第12回目	話法 クオーテーション・マーク(””)の直接話法とthatでうけて表わす間接話法の訳し方		
第13回目	Until(Till)とBefore 「~まで」とか「~まえに」以外に「・・・になって初めて・・・だ」と訳す場合がある。		
第14回目	1. Until(Till) It was not until yesterday that I knew the fact.		
第15回目	総合的なまとめ、復習考察し、分析する。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	授業に集中し、必要なことはノートに取る。積極的な発言をする。
レポート		20%	課題の条件を十部満たしている。学習の成果が満たされている。
調査報告書			
小テスト		10%	課題の条件を十部満たしている。学習の成果が満たされている。
試験		40%	学習内容を理解し、その知識と技術のある程度身につけている。
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
「入門翻訳の基礎」(南雲堂) 参考書: 「翻訳英文法」(バベル・プレス)			
履修上の留意点・ルール			
予習・復習をする。辞書・電子辞書を持参し、積極的に授業に参加すること。飲食物持ち込み厳禁			